

報道関係者各位



い か だ ち  
 「伊香立の森トラスト」を新たに取得しました

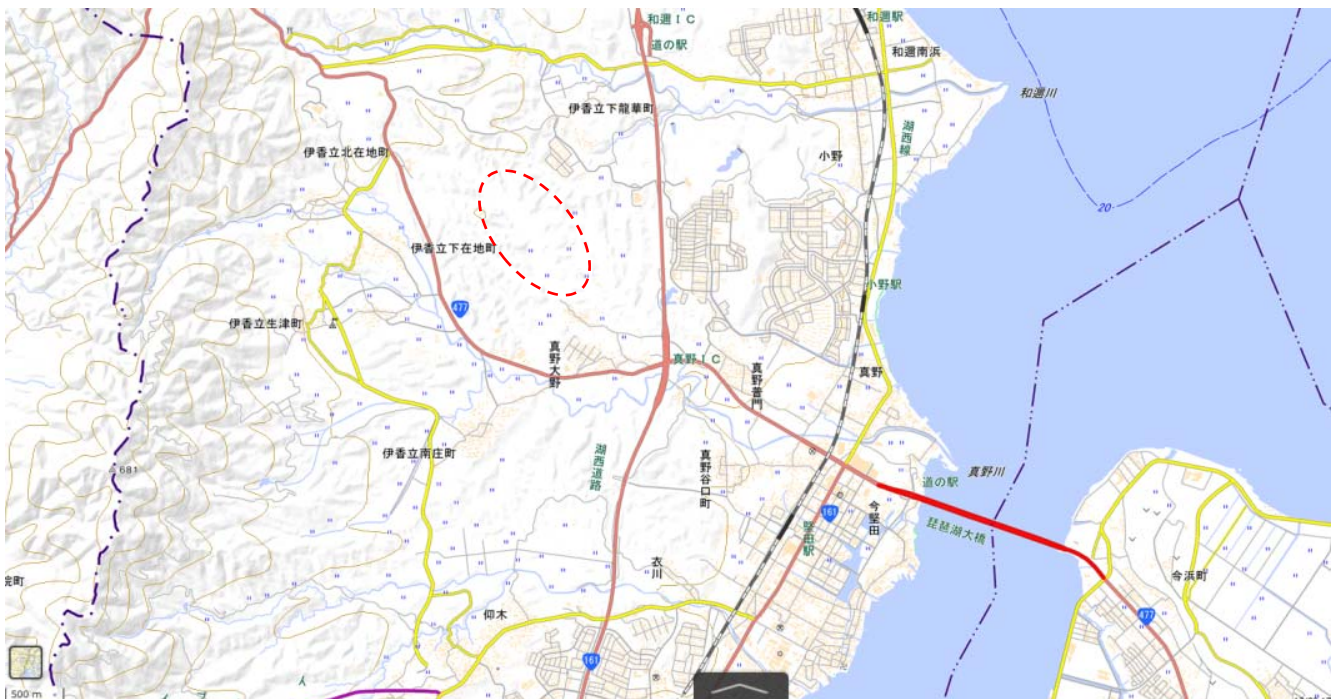
この度、日本ナショナル・トラスト協会は、都市再生機構から滋賀県大津市内の山林の譲渡を受け、滋賀県内では初めてとなるトラスト地を取得し保全することになりました。当協会はこの土地を「伊香立の森トラスト」と名付けて所有し、その豊かな自然環境を将来世代に引き継いでいきます。

琵琶湖に注ぐ世渡川の上流に位置する約 50 ヘクタールの広大な森が、自然環境の保全を目的としたトラスト地となったことで、外国資本や開発業者等に所有権移転されることなく永久に自然地として保全されます。今後は、エコロジカル・ネットワークのひとつの拠点として、大津市の持続可能なまちづくりの礎となると期待しています。また、大津市や地元地域とも連絡をとりながら、当トラスト地の持続的な維持管理方法について検討していく予定です。

この度のトラスト地の取得につきまして、貴媒体でご紹介いただけますようお願い申し上げます。

#### ■取得地の概要

- ・ 所在地：滋賀県大津市伊香立下在地町、山百合の丘
- ・ 取得方法：譲渡
- ・ 面積：約 50ha (477,913.42m<sup>2</sup>)
- ・ 地目：山林、原野、雑種地、宅地
- ・ 登記完了日：平成 27 年 12 月 14 日



## ■取得地の重要性

- ・ 「伊香立の森トラスト」周辺は、比叡山系の麓、琵琶湖を望む良好な自然環境が長期にわたり保たれており、水源涵養林としての役割や、ニゴロブナ等の固有種がすむ琵琶湖に栄養をもたらす森としての役割など、多面的な機能を発揮する公益性の高い森となっています。
- ・ 主にアカマツ－モチツツジ群落に属する山林と、耕作水田雑草群落に属する谷戸で構成されています。
- ・ 希少種や絶滅危惧種も含む多くの動植物の生息地で、将来世代の重要な遺伝子資源となっており、全国的に見ても優れた里地里山環境を有しています。
  - 例) ダルマガエル（環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠB類／滋賀県レッドリスト絶滅危機増大種）
  - モリアオガエル（滋賀県レッドリスト要注目種）
  - カミサンショウウオ（環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類／滋賀県レッドリスト希少種）
- ・ 全域が都市計画区域内にあり、将来の新市街地として開発圧力が高い地域ですが、平成 21 年には、「滋賀県ビオトープネットワーク長期構想」（滋賀県）において「重要拠点区域」の「堅田丘陵」エリアに位置づけられました。
- ・ 「大津市北部地域新産業拠点形成計画」（大津市）では、自然環境保全を図る「里山自然遊園ゾーン」に、それぞれ位置づけられ、比叡山系と琵琶湖をつなぎ、県内の生物多様性を保全するビオトープ・ネットワークの拠点として重要な役割を果たしています。

## ■取得経緯

- ・ 当該地は、約 40 年前、当時の日本住宅公団（現都市再生機構）が住宅地開発予定地として用地取得しましたが、社会情勢変化等を踏まえ、平成 14 年に事業区域から除外されました。
- ・ 都市再生機構から上記計画の趣旨を踏まえ当トラスト地の自然環境保全を図ることを目的とした土地譲渡の申し出があり、検討を行った結果、大津市との協議も重ねこのたびの取得となりました。



【問合せ先】公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会  
東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル TEL 03-5979-8031